

住まいのリフォーム博 2009 (第5回)
公式ガイドブック(会場マップp.48)



200万円で
ここまでできる!

補助金を120%活用! リフォームで得するお金の話
タンクレストイレとシステムキッチンの製品比較



溝口さんの提案する **プラス300万円で
車いすになっても暮らせる!** ステップアッププラン

- 7 高齢になるとわずかの段差につまずきやすい。台所、和室、リビングダイニングのドアを引き戸に変更し、沓ずりの段差を撤去
- 8 車いすのまま入れるよう、トイレの出入り口を広げる。トイレと洗面所のドアは引き戸に交換し、沓ずり分の段差を撤去。将来、衣服の着脱時に使う折り畳みいすを壁に取り付けるため、洗面所の壁の下地を補強
- 9 介助が必要な場合に備えて、トイレと洗面所の間仕切り壁を撤去して3枚引き戸に交換。車いすやいすに座って洗面できるように、洗面台を車いす対応品に交換
- 10 急激な温度変化は身体に負担がかかるため、バスルームを断熱性の高いユニットバスに変更。バリアフリー仕様を選択する
- 11 和室とリビングダイニングの雨戸を電動シャッターに交換し、雨戸を開け閉めする負担を解消
- 12 ダイニングを広く使うため、生活用品をまとめるカウンター式収納を設置。光熱費のコストダウンをはかるため、リビングダイニングのエアコンを蓄熱式暖房機に変更
- 13 浴室、トイレ、洗面所のそれぞれに埋め込み型の暖房機を設置し、各部屋の温度変化を抑える
- 14 車いすで2階と行き来したい場合は、ホームエレベーターを設置

24万円

18万円

33万円

80万円

56万円

70万円

21万
5000円

230万円



部屋と廊下の境目の「沓ずり」を取り除いて、平らにした床



溝口さんがトイレの暖房機としてよく提案している、ヒートテックの壁付け型温風機「ホットボーイ」埋め込みタイプ。薄型で邪魔にならない

(写真:ヒートテック)

左側の収納棚の下に、蓄熱式暖房機を設置した例



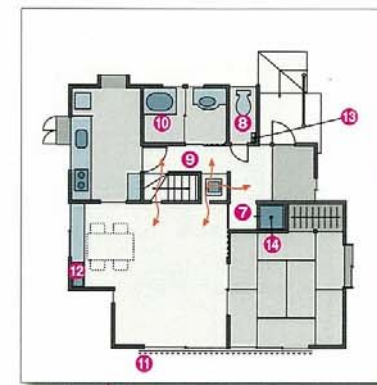
左のドアは、車いす1台が乗る三和シャッター工業のホームエレベーター

(写真:三和シャッター工業)



「住み続けるために必要なリフォームの項目をすべて把握できただけでなく、それぞれの費用や優先順位がわかったので、家の不安が消えました」(田中さん)

予算を追加したリフォーム提案



さらに予算を追加すると

概算見積もり金額 ⑦~⑭では532万5000円

⑦~⑭はバリアフリー関連の補助金が支給される可能性のある項目。⑦~⑭の工事に関連する解体費、壁紙の張り替えなどとして、工事費の約1割が別にかかる

⑦~⑬で
302万
5000円

溝口さんが話すバリアフリーリフォーム成功のポイント

住み慣れた家に老後も暮らし続けることは、心身ともに理想的ではないでしょうか。その決意が固まったらなるべく元気なうちに、身体が不自由になっても住み続けられる家にリフォームしましょう。身体が衰えてからでは、必要に迫られた部分のみが優先され、家全体を見直す余裕がなくなる恐れがあります。バリアフリーリフォームは、身体障害や介護の知識などが必要とされる難しい仕事なので、経験豊富で信頼できるプロに頼むことが成功のカギを握ります。複数の候補者に自分の身体のつらいところなどを伝えて提案を求め、どのくらい理解できているか確認するといいでしょう。